

5.1. 友人関係

友人関係項目について前回論文の結果をまとめると、1990年から2009年の間に若者同士の共感が困難になり、その結果、若者たちは自己開示に慎重になり、相互理解よりもトラブル回避を優先する振る舞いをみせるようになっていた。今回調査ではこれらの傾向は踏襲されつつ、相互理解がさらに浅くなっている可能性が示唆された。

まず相互理解についてみると、表5-1において「H6 同じ若者でも「どうしても理解できない人」がいる<sup>10)</sup>」が05年で増加したのち横ばいであることから(90年67.6%→05年86.0%→09年85.6%→15年87.6%)、不透明感は維持されていると解釈できる。

次に友人数や友人関係の多様性について、まず個人性項目から友人関係にも関連するものを取り出してみると(表6-1参照)、「B2 友人の数は多いほどいい」が90年の半分以下に減少(90年81.5%→05年42.9%→09年45.6%→15年34.7%)しているのに加え、「B13 気の合う友人とだけつきあいたいと思う」とする意識は20%近く増加しており(90年55.1%→05年69.5%→09年70.4%→15年72.2%)、松山ではさらに上昇率が大きく05年60.9%→09年71.1%→15年80.4%)、友人数の多さを誇るような振る舞いは少なくとも意識の上ではみられなくなっている様子がうかがえる。

そこで表5-2から、実際の友人数を確認してみ

表5-1 友人関係に関する4件法項目 (単位=%、肯定的回答の割合の合計)

変数名				変数ラベル	1990 (n=1538)	2005 (n=515)			2009 (n=558)			2015 (n=473)		
1990	2005	2009	2015			杉並 (n=266)	松山 (n=249)	χ <sup>2</sup>	杉並 (n=308)	松山 (n=250)	χ <sup>2</sup>	杉並 (n=259)	松山 (n=214)	χ <sup>2</sup>
H6	q43.5	q38.5	q26.4	同じ若者でも「どうしても理解できない人」がいる	67.6%	86.0%	86.6%	n.s.	85.6%	87.5%	n.s.	87.6%	85.5%	n.s.
H7	q43.6	q38.6	q26.5	人と意見が対立しても絶対にゆずれないことがある	73.3%	77.0%	67.9%	*	76.1%	71.9%	n.s.	62.9%	55.1%	n.s.
H8	q43.7	q38.7	q26.6	年上との交流が多い	57.2%	71.3%	63.9%	n.s.	73.9%	66.3%	n.s.	71.4%	61.2%	**
H9	q43.8	q38.8	q26.7	年下との交流が多い	41.4%	30.6%	30.9%	n.s.	32.2%	25.4%	n.s.	34.4%	25.2%	*
J2	q43.11	q38.13	q26.9	知らない人ばかりのパーティーは気がひける	66.5%	76.8%	73.8%	n.s.	73.6%	76.6%	n.s.	77.2%	81.8%	n.s.
J3	q43.12	q38.14	q26.10	共通点のない人と知り合いになるのが得意だ	40.6%	21.9%	22.1%	n.s.	29.0%	25.4%	n.s.	35.5%	23.4%	**
K2	q43.13	q38.15	q26.11	積極的に自己主張するほうだ	47.1%	35.1%	29.8%	n.s.	33.6%	29.7%	n.s.	34.7%	24.8%	*
L14	q43.19	q38.21	q26.12	いじめられたことがある	39.7%	46.8%	39.0%	n.s.	47.2%	40.6%	n.s.	47.5%	42.5%	n.s.
H3	q43.1	q38.1	q26.1n	友人と社会問題や時事問題を話題にする(1990は、友達のおしゃべりで、社会問題や時事問題を話題にすることがあるか)	78.4%	63.5%	44.2%	***	67.2%	48.4%	***	55.6%	39.7%	**
H4	q43.2	q38.2	q26.2n	友人と個人的な悩みを話題にする(1990は、友達のおしゃべりで、個人的な悩みを話題にすることがあるか)	73.1%	75.2%	75.5%	n.s.	70.5%	70.4%	n.s.	73.0%	62.6%	*
	q43.4	q38.4	q26.3n	遊ぶ内容で友人を使い分けている	-	73.3%	64.3%	*	75.0%	66.4%	*	77.6%	71.5%	n.s.
		q38.22	q26.13n	人間関係を一からやり直したいと思ったことがある	-	-	-		43.2%	45.6%	n.s.	50.2%	50.9%	n.s.

表5-2 友人の人数 (単位=%、複数回答)

変数名				変数ラベル	1990 (n=1538)	2005 (n=515)			2009 (n=558)			2015 (n=473)		
1990	2005	2009	2015			杉並 (n=266)	松山 (n=249)	χ <sup>2</sup>	杉並 (n=308)	松山 (n=250)	χ <sup>2</sup>	杉並 (n=259)	松山 (n=214)	χ <sup>2</sup>
q40.1	q36.1	q24.1		親友の人数(無回答、30人以上)	-	3.92	3.50	n.s.	3.98	3.54	n.s.	3.65	3.59	n.s.
q40.1mq	36.1m	q24.mw		同性の親友の人数(無回答、11人以上を除外)	-	3.51	3.20	n.s.	3.65	3.25	+	3.17	3.15	n.s.
q40.1mq	36.1m	q24.mw		異性の親友の人数(無回答、11人以上を除外)	-	0.69	0.44	*	0.68	0.59	n.s.	0.68	0.56	n.s.
q40.2	q36.2	q24.2		仲のよい友人の人数(無回答、101人以上を除外)	-	18.47	14.36	**	19.87	17.54	n.s.	18.23	13.50	**
q40.3	q36.3	q24.3		知り合い程度の友人の人数(無回答、401人以上を除外)	-	64.52	44.80	***	70.60	49.59	**	71.30	42.52	***

表5-3 友人関係の形成に関わる場所・メディア（単位＝％，複数回答）

変数名				変数ラベル	1990 (n=1538)	2005 (n=515)			2009 (n=558)			2015 (n=473)		
1990	2005	2009	2015			杉並 (n=266)	松山 (n=249)	$\chi^2$	杉並 (n=308)	松山 (n=250)	$\chi^2$	杉並 (n=259)	松山 (n=214)	$\chi^2$
q40sq2.1	q36sq2.1+2	q24sq1.1		知り合った場所：学校（全体）で	-	97.0%	90.9%	n.s.	96.4%	95.0%	n.s.	97.3%	99.0%	n.s.
q40sq2.3	q36sq2.3	q24sq1.4		知り合った場所：塾や予備校	-	14.1%	8.3%	*	15.8%	10.9%	n.s.	11.4%	8.1%	n.s.
q40sq2.4	q36sq2.4	q24sq1.5		知り合った場所：職場（アルバイト除く）	-	4.9%	11.6%	**	4.3%	8.4%	*	5.9%	10.5%	*
q40sq2.6	q36sq2.5	q24sq1.6		知り合った場所：学校・職場以外のサークル・習い事	-	8.4%	4.6%	*	8.9%	10.5%	n.s.	14.1%	6.7%	*
q40sq2.7	q36sq2.7	q24sq1.7		知り合った場所：アルバイト先	-	24.3%	30.7%	*	19.8%	21.3%	n.s.	17.3%	17.6%	n.s.
q40sq2.8	q36sq2.9	q24sq1.8		知り合った場所：近所づきあい	-	5.7%	7.5%	*	5.0%	7.9%	n.s.	3.1%	6.2%	n.s.
q40sq2.11	q36sq2.11	q24sq1.9		知り合った場所：街や通り	-	2.3%	1.7%	n.s.	3.3%	3.8%	n.s.	1.2%	0.0%	n.s.
q40sq2.10	q36sq2.10	q24sq1.10		知り合った場所：インターネットや携帯のサイト	-	6.1%	6.6%	n.s.	5.9%	6.3%	n.s.	7.5%	8.1%	n.s.
q40sq2.12	q36sq2.12	q24sq1.11		知り合った場所：その他	-	6.1%	4.6%	n.s.	3.6%	3.3%	n.s.	5.1%	3.3%	n.s.
q36.5	q31.5	q18.3		友人形成に役立ったメディア：携帯電話の通話・メール	-	63.2%	60.6%	n.s.	57.1%	53.6%	n.s.	18.9%	19.2%	n.s.
q36.1	q31.1	q18.6		友人形成に役立ったメディア：テレビ番組の話題	-	57.1%	59.0%	n.s.	52.9%	50.8%	n.s.	23.6%	18.7%	n.s.
q36.2	q31.2	q18.7		友人形成に役立ったメディア：ゲームの話題（～2009は、テレビゲーム）	-	16.5%	15.7%	n.s.	22.7%	26.8%	n.s.	25.9%	26.2%	n.s.
q36.3	q31.3	q18.2.4.5		友人形成に役立ったメディア：インターネットのサイト（2015は、ブログ・Twitter・SNS＋動画サイト＋それ以外のサイト）	-	15.4%	12.0%	n.s.	25.0%	24.8%	n.s.	51.7%	48.1%	n.s.

ると<sup>11)</sup>、親友数は割合にして6.9%の減少（05年3.92人→09年3.98人→15年3.65人）、同性親友数は9.7%の減少がみられた（05年3.51人→09年3.65人→15年3.17人）ものの、それ以外ではさほど大きな変化がみられず、友人関係の外延が変化しているとは言いがたい結果となった（仲のよい友人数05年18.47人→09年19.87人→15年18.23人、知りあい程度の友人数05年64.52人→09年70.60人→15年71.30人）。しかし経年変化こそみられないものの、知りあい程度の友人数において杉並と松山では極端な開きがあるのは興味深い地域差といえるだろう（15年調査で杉並71.30人に対して松山42.52人）。

また表5-3の結果より、友人関係の多様性を測る尺度として親友や友人と知り合った場所の数（友人チャンネル数）の平均を確認したところ<sup>12)</sup>、05年1.72→09年1.71→2015年1.62とほぼ横ばいであり、多様な人間関係が構築されているとは必ずしもいえないことがわかった。また知り合っ

た場所自体も「学校」がほぼ全員に選択されており（05年97.0%→09年96.4%→15年97.3%）、自らの通う学校での受動的かつ比較的同質な友人関係が彼らの生活のほぼ全域を占めているといえる。

なお表5-3の上段をみると、知り合った場所として「インターネットや携帯のサイト」の割合が必ずしも高くなく、またあまり増加していないことがうかがえる（05年6.1%→09年5.9%→15年7.5%）。しかしここから、こうした新しいメディアが友人関係の形成に関わっていないと判断するのは早計だろう。おそらくこれらの回答は、その割合の低さからしても、「出会い系サイト」のような、純粋にインターネット上でのみ知り合った友人を想定した回答と考えたほうが良いのではないだろうか。というのも、表5-3の下段「友人関係の形成に役立ったメディアは何か」について「インターネットのサイト」が急激な増加をみせているからである（05年15.4%→09年25.0%→15